

市は「住むひとが誇りと愛着を感じ、訪ねるひとの心に残る松江の景観づくり」を推進しています。

シリーズ景観46

～『みんなで残したい松江の景観400選集』から景観審議会が特にお薦めする景観～

— No.266 興雲閣 —

「当時皇太子だった大正天皇の山陰行啓の時、御宿泊所として使用された興雲閣は県指定文化財で、建築史的にも大変価値のある建築物です」と推薦いただきました。

興雲閣は1903(明治36)年に「松江市工芸品陳列所」として建てられ、各種の会合や展覧会の会場、迎賓館として活用されてきました。下見板を張り、ベランダを巡らせた洋風の外観を採用しながら、随所に和風の意匠を取り入れた擬洋風建築の建物です。

市では、明治45年当時の外観色である淡緑色に復元したほか、耐震補強工事、活用のための施設整備を25年度から2ヵ年かけて行い、27年10月に再オープンしました。

周囲の樹木にとっても映える淡緑色の興雲閣を見ると心が澄みわたります。これを機に、松江城と興雲閣と一緒に訪れてみてはいかがでしょうか。

興雲閣 開館時間 8:30～17:00(10月～3月)、8:30～18:30(4月～9月)

入館料 無料 2階大広間は有料で貸切使用することができます。

※問い合わせ先 松江城山公園内 興雲閣 ☎61-2100



「松江の景観400選集」掲載写真



27年10月再オープン

「みんなで残したい松江の景観400選集」は、市ホームページでご覧いただけます。
【問い合わせ】まちづくり文化財課 ☎55-5387

松江の景観400選

検索

